

■ 活動概要

2018年度は、タイムベースドメディア・プロジェクトに所属し、当初の予定通り、ジェネラティブ・ストリーミング作品の制作を履修生3名と共に進めた。あらかじめパッケージ化された映像や音響の再生ではなく、生成され続けるそれらをネットワーク配信する形式の作品をジェネラティブ・ストリーミング作品と定義し、表現の可能性を探った。また、メディア表現学研究プロジェクトに所属し、図書館に收藏されているIAMAS学生による修士論文の整理に着手した。分析の準備作業としてCD-ROMのPDFデータの確認とキャプチャ作業を進め、サーバでのリスト化を完了した。同プロジェクトでは図書館内にIAMAS Library Art Spaceを整備し、展示やトークイベントの試験運用を行った。昨年度まで4年間に渡って担当した『HD II 高精細映像技術を用いた表現研究プロジェクト』の成果発表として、展覧会『再生される肌理IV』を企画し、所属していたメンバー14人による作品を紹介した。OPENHOUSEではトークイベントも開催した。

学外での発表としては、モノログ・オペラ「新しい時代」の記録映像の上映会が大阪、京都、神戸で開催され、国外ではブルガリアでも上映された。また、この舞台作品の映像演出については、日本映像学会第44回大会において発表した。加えて、山形国際ドキュメンタリー映画祭2017に出品したオムニバス・ムービー『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW Omnibus 2011/2016』が、上映イベント「ドキュメンタリー・ドリーム・ショー」で、新宿K's Cinemaにて上映された。その他には、画家の安喜万佐子との共作『gold leaf paintings with video projection シリーズ』を、前年度、モスクワでの発表に引き続き、東京で発表した。

■ プロジェクト発表

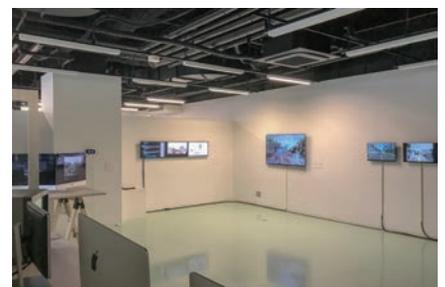
- ・ タイムベースドメディア 2019 展  
ソフトピアジャパン センタービル (2019.02.21 - 02.24)

IAMAS 2019 プロジェクト研究発表会において、タイムベースドメディア・プロジェクトの成果発表を行った。インターネット配信を前提とした生成され続ける音楽、音響、映像作品。



- ・ 再生される肌理 IV  
IAMAS Library Art Space (2018.07.30 - 10.19)  
主催：メディア表現学研究プロジェクト

2014年から4年間に渡って進められた「HD II 高精細映像技術を用いた表現研究プロジェクト」で制作された作品及びメンバーによる近作の展示を行った。総合ディレクションを担当。



■ 作品発表

〈モノログ・オペラ「新しい時代」記録映像上映会〉

- ・ 記憶の劇場Ⅲ 三輪 眞弘+前田 真二郎  
モノログ・オペラ映像上映 新しい時代

豊中市立文化芸術センター (2018.11.15)  
ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 (2018.11.24)  
神戸アートビレッジセンター シネマ (2018.12.22)

2017年12月に17年ぶりに再演した舞台作品、モノログ・オペラ「新しい時代」の記録映像を監督した。大阪大学総合学術博物館の主催事業「記憶の劇場Ⅲ」として、関西3会場でその上映会が開催された。(企画：大阪大学・伊東信宏教授)

- ・ Pop-culture and Youth in Japan and Bulgaria  
Sofia University "St Kliment Ohriski", Aula Magna  
(ブルガリア・2019.03.12)

モノログ・オペラ「新しい時代」再演プロジェクトの発起人である、大阪大学の伊東信宏教授が、日本のオルタナティブ・カルチャーをテーマとしたシンポジウムに登壇。作品についてのレクチャーと共に、記録映像が全編上映された。

- ・ 安喜万佐子展『暁の石／沈黙の水鏡』  
The Artcomplex Center of Tokyo (2018.11.01 - 11.18)

画家の安喜万佐子との共作を出品。金箔を用いた複数の壁面の絵画に対して、2台のプロジェクターを用いて映像のマッピングを行った。このシリーズは、これまでに大阪、奈良、モスクワで発表している。



記憶の劇場Ⅲ 三輪 眞弘+前田 真二郎  
モノログ・オペラ映像上映 新しい時代



『gold leaf paintings with video projection シリーズ』

- ・ ドキュメンタリー・ドリーム・ショー 2018  
K's cinema (東京・2018.10.26)  
『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW Omnibus 2011/2016』  
企画：前田真二郎 監督：鈴木光 大木裕之 池田泰教 釜利子

4人の映像作家が指示書をもとに5分の短編映画を制作。震災直後の2011年制作の4本と、その5年後、2016年制作の4本、合計8本によるオムニバス・ムービー。



## ■ トーク・ワークショップ

- ・ これからの創造のためのプラットフォーム  
「映像表現と人類学」(2019.02.22)  
ゲスト：分藤大翼(映像人類学・信州大学准教授)  
前林明次(IAMAS教授)、前田真二郎
- ・ 第11回 恵比寿映像祭「トランスポジション 変わる術」  
東京都写真美術館(2019.02.14)  
YEBISU 大学 市民課～映像のシティズンシップカフェ  
モデレーター：津田広志 講師：前田真二郎
- ・ IAMAS ARTIST FILE #06  
みる ころみるかえりみる | クワクポリョウタ 会田大也  
ワークショップ『映画を2回観る会』  
岐阜県美術館(2018.10.14,20)  
上映作品：日々”hibi” AUG 2009 -2011 (監督：前田真二郎)



これからの創造のためのプラットフォーム  
「映像表現と人類学」

## ■ 学会発表

- ・ 第44回 日本映像学会大会  
東京工芸大学(2018.05.27)  
作品発表：モノログ・オペラ『新しい時代』  
- 赤外線カメラとビデオディレイ・システムを用いた映像演出



## ■ 社会活動

- ・ 日本映像学会中部支部理事
- ・ ぎふ美術展企画委員
- ・ 『私の関ヶ原』写真コンテスト2018 審査員(岐阜県主催)

